

予報

# Web併催 協同組合学術研修会

主催 鹿児島県歯科医師協同組合

共催 鹿児島県歯科医師会 鹿児島県歯科衛生士会

生まれてからの口腔機能の育て方  
～食べる話す呼吸する機能について～

日 時 ▶ 2024年12月22日(日) 10:00～16:00

会 場 ▶ 鹿児島県歯科医師会館 4階多目的ホール  
(鹿児島市照国町13-15)

定 員 ▶ 【会場受講】 先着80名

受 講 料 ▶ 県歯会員 8,000円/歯科衛生士・スタッフ 2,000円

※Web配信は「Zoom」を利用して配信予定です。

※講演内で実習を行います。実習は会場受講者のみが対象となりますのでご了承ください。

講師紹介は裏面へ

## 【当日のプログラム(予定)】

|             |                                            |
|-------------|--------------------------------------------|
| 10:00～12:30 | 講 演 「生まれてからの口腔機能の育て方<br>～食べる話す呼吸する機能について～」 |
|             | 講 師 とき歯科 土岐 志麻先生                           |
| 12:30～13:30 | 昼 食(約1時間休憩をはさみます)                          |
| 13:30～16:00 | 講 師 とき歯科 土岐 志麻先生                           |

## 講師紹介

### 【略歴】

平成 6 年 北海道医療大学歯学部卒業  
平成 11 年 北海道大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程修了  
(歯学博士)  
平成 12 年 青森市で開業(とき歯科)

全国小児歯科開業医会会長  
日本小児歯科学会認定専門医指導医/公益社団法人 日本小児歯科学会  
常務理事  
東北大学臨床教授/北海道医療大学非常勤講師/日本大学歯学部非常勤講師  
歯科医師臨床研修指導医/青森市教育委員会教育長執務代行者



とき歯科  
土岐 志麻

## 講師抄録

子ども達はよく大人から食事の際に「ちゃんと咬みなさい」と指導されます。

では、「ちゃんと咬む」とはどうやって咬むのでしょうか？子ども達に質問すると「30回咬む！」と元気に答えてくれます。しかし、ちゃんと咬むとは、咬むための筋肉をしっかりと使って咬むことです。そのことを学ぶ機会はありません。

食えること、話すこと、飲むこと、呼吸を助けること、このようなお口の機能は小さいうちにさまざまな経験を繰り返すことによって発達していきます。しかし、うまく発達できなかった場合「口腔機能発達不全症」と診断され、専門家の支援・指導が必要になります。

口腔機能発達不全の問題として取り上げられる症状の一つに有名な「お口ぽかん」があります。これは、3～12歳では3割の子に見られ、コロナ禍では約4割に増えたと報告されています。そして、この「お口ぽかん」は大人になっても変わらないというデータも報告されています。お口ぽかんの何がいけないのでしょうか？お口で息をすることで体内に起きる感染症にかかりやすくなるという問題や、歯科的には嚥下時の舌の動きの問題・舌の位置の問題で、歯列咬合に影響が出てくるなどがあげられます。

もし口腔機能の発達不全が認められたのなら、そのまま放っておくことはできません。なぜなら、大人になってからも、どんどん歯並びがみ合わせは崩れ、誤飲誤嚥など、早期に口腔機能低下症になる可能性が出てくるからです。発達の問題が起きないような育て方、そして問題に気が付いた時にどのような対応・支援が必要なのかをお話します。

すぐに実践できるようなトレーニングの実習も行う予定です。今回は主に子どもの口腔機能の育て方についてのお話ですが、その方法の多くは介護の現場などでも参考になるものだと思いますので、口腔機能低下症の支援にもつながると思います。